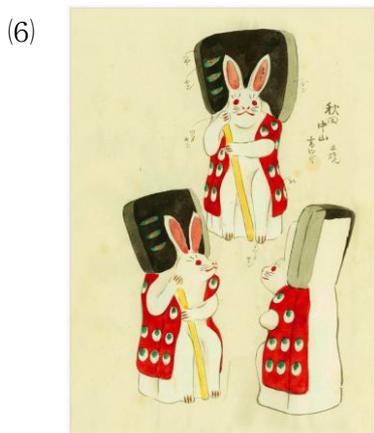
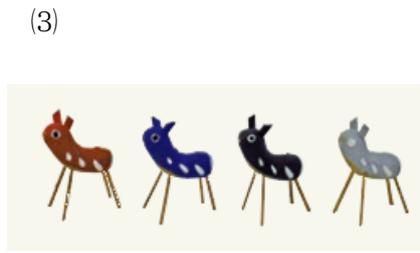


令和 8 年 3 月 11 日

おもちゃ  
「郷土玩具へのまなざしーかわいくて懐かしい玩具たち」

のご案内について

江戸時代、祈りや願いが込められ土産物や特産物として全国に広まった郷土玩具は、近代以降、知識人たちの趣味として収集、研究され、その素朴さや純粋な造形表現に新たな価値を見いだされていきました。そして、現在郷土玩具はただ懐かしさを感じるだけの存在ではなく、地域文化の象徴としての役割も担うようになっています。企画展では、東北の郷土玩具をはじめ、川崎巨泉や武井武雄などの趣味人たちが描いた玩具帖や図譜、グリコのおもちゃデザイナーであった宮本順三が郷土玩具からヒントを得てつくったおまけなど約80点を展示し、江戸時代から現代までの郷土玩具へのまなざしを探ります。時代の流れとともに変化する人々の美意識や価値観、そして私たちが郷土玩具に抱く無意識のノスタルジー(郷愁)を紐解きます。



- (1) 《赤べこ》(福島) / 高槻市立しろあと歴史館蔵
- (2) 《松川だるま》(宮城) / 高槻市立しろあと歴史館蔵
- (3) 《五色鹿》(奈良) / 宮本順三記念館 豆玩舎ZUNZO蔵
- (4) 《八戸駒》(青森) / 宮本順三記念館 豆玩舎ZUNZO蔵
- (5) 《八ノ戸木馬猿のり異種》(青森) 『巨泉玩具帖』3巻3号  
/ 大阪府立中之島図書館蔵
- (6) 《秋田中山[土兔]》(秋田) 『玩具帖』1巻39号 / 大阪府立中之島図書館蔵
- (7) 《中山人形 まさかり持ち兔 土鈴》 / 高槻市立しろあと歴史館蔵

広報用画像使用時の注意点

- 広報用画像の使用は本展をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。本展終了後の使用、または二次利用はお断りします。
- 広報用画像をご紹介いただく場合、展覧会名、会期、会場、作品名及び指定のキャプションとクレジットを必ずご記載ください。
- トリミング、変形、部分使用、文字のせは一切禁止となっております。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、必ずゲラ刷り・原稿の段階でお送りください。

【開催概要】

- タイトル「郷土玩具へのまなざしーかわいくて懐かしい玩具たち<sup>おもちゃ</sup>」
- 会期：2026年4月10日(金)－6月7日(日)
- 休館日：月曜日(ただし5月4日は開館、5月7日は閉館)
- 開館時間 10:00－18:00(入館は17:30まで)
- 会場：市立伊丹ミュージアム 展示室6
- 主催：市立伊丹ミュージアム[伊丹ミュージアム運営共同事業体 / 伊丹市]
- 料金：無料

【関連事業】

○竹のカラクリおもちゃ「鯉の滝のぼり」を作ろう！

SDGs 工作・竹で伝承おもちゃをつくります。

日時：4月19日(日)①10:30-12:30 ② 13:30-15:30

場所 1階 アトリエ

講師 磯田武士・磯田宇乃(宮本順三記念館 豆玩舎 ZUNZO)

定員 各16名(先着順)

参加料 500円

※要・事前申込 / 3月15日(日)10時より電話 072-772-5959にて受付開始

**P R E S S**  
**R E L E A S E**

○ものづくりワークショップ「木でつくるおきあがりこぼし」

ヨゼフ・ラダ展との共同企画。素朴でかわいい玩具の「おきあがりこぼし」をつくります。

講師：奥田守保、奥田千珠(木工作家 / 想造工房)

日時：5/4(月祝)12:30~16:30

場所：1階アトリエ

定員：10名

参加費：4,200円(材料費含む)

※要・事前申込 / 3月15日(日)10時より電話 072-772-5959にて受付開始



【問い合わせ先】市立伊丹ミュージアム (担当)上野

(開館時間)午前10時00分~午後5時(入館は午後5時30分まで)

(休館日)月曜日(祝日の場合は翌営業日)

TEL 072-772-7447 FAX 072-784-8109

メールアドレス:ueno@itami-im.jp